

人々が暮らし、まもり続けてきた、
歴史的・学術的価値を有した魅力ある空間、
「富田林寺内町」を
未来へ伝え続けるために。
その魅力を多くの方々に知ってもらうために。

暮らす

保存する

活用する



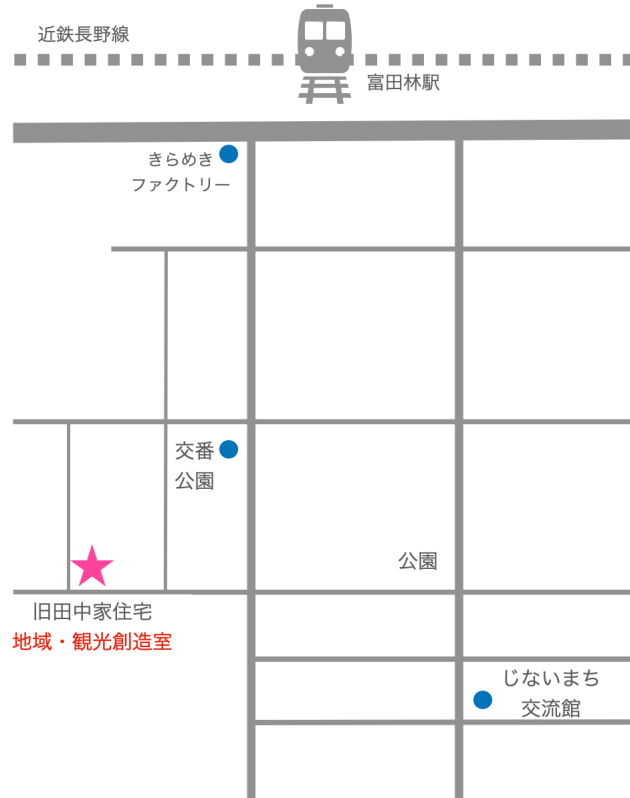
暮らす・保存する・活用するというバランスを
「生活空間型観光」として発信していきます。

アクセス

近鉄南大阪線（長野線）富田林駅下車 徒歩約10分

大阪府富田林市本町7-2

登録有形文化財旧田中家住宅敷地内



お問い合わせ

富田林市役所 産業まちづくり部 商工観光課

富田林市常盤町1番1号

TEL 0721-25-1000

じないまち 地域・観光創造室

地域、文化財、そして観光を理解し、
地域の方々と、富田林寺内町の未来を描けないか？
寺内町で活動しているの方々のお手伝いをできないか？
そんな想いの表徴として、
想いをカタチにする拠点として、
じないまち 地域・観光創造室はスタートします。



富田林市 × 阪南大学国際観光学部和泉研究室

あっと驚くようなことは、
できないかもしれませんが、
あって良かったねと、
想われる拠点に。



寺内町の魅力に、
地域の想いを込め、
アクション・発信する拠点に。

登録有形文化財旧田中家住宅敷地内に
じないまち 地域・観光創造室は誕生します。

※職員などが常駐する施設ではありません。

調査研究

暮らす・保存する・活用するという3つの要素が意識された生活空間型観光を展開していくために調査研究を進めていきます。阪南大学和泉研究室のサテライトラボとしても機能する創造室は、寺内町での継続的な調査を可能にし、課題抽出やその解決などに関する「実践的な研究活動の展開」が期待できます。数回の訪問では、見えてこないものも見えてくるのではないかと考えています。



実践的な取り組み

地域住民・寺内町で活動している方々・事業者や生産者などと連携し、実践的な取り組みを進めていきます。取り組みは、重要伝統的建造物群保存地区としての「本来的価値」を立ち返りの原点として忘れず、調査研究を元にした課題解決的な取り組み・普及啓発・展示会・イベント・食魅力の創造やアートとの融合などのコンテンツで、地域や来訪者誘致を意識しながら進めていきます。

交流

地域住民・寺内町で活動している方々・市内の小中学生・事業者や生産者・来訪者など、さまざまな方々が交流しつなげる場として機能させていきます。交流から紡ぎ出される言葉には、実践的な取り組みを思考するヒントも存在するのではないかと考えています。多くの言葉と笑顔が入り混じるような「あたたかな場づくり」を目指します。



情報発信

寺内町に関する情報や創造室の取り組みなどについて、市内外に積極的に発信していきます。来訪者に知って欲しい地域目線の情報、地域住民に知って欲しい来訪者目線の情報など、両方向へ向けて発信することができればと考えています。また、創造室の取り組みの発信にも努め、一緒に活動し、一緒に未来を考えていただける「寺内町のファン」をつくっていきたくと考えています。